

# 2022年度 事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

# 目次

P1～P4	法人の概要
P5	事業の概要
P6～P7	湊川短期大学事業報告
P8～P9	三田松聖高等学校事業報告
P10	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P11	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P12～P13	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P14	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P15	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P16	湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P17	湊川短期大学附属ぼるとこども園事業報告
P18	財務の概要
P19	2022年度財務報告
P20～P21	過去5カ年の財務推移表

# 学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 2022年度 事業報告書  
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

## 1 法人の概要

### 1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

### 2 学園教育目標

#### ・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなる意欲のもと、科学心を啓培し

#### ・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

#### ・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を錬磨し、清く正しく強い、時代に  
適応できる有為な社会人を育成したい。

### 3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

#### (1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科生活福祉専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

#### (2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

#### (3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

#### (4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

#### (5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

#### (6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

- (7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可  
〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3
- (8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園  
〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番
- (9) 湊川短期大学附属ぽるとこども園  
〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

#### 4 役員・評議員の概要

【役員】定数 9人以上11人以内 監事 2人

理事長(常)	浅井 祐子 H.19.4.1	監事(非)	下山隆一郎 H.13.4.1 税理士
常務理事(常)	金澤 敦夫 R. 3.4.1 法人事務局長	監事(非)	木寅文雄 H.25.4.1
常任理事(常)	川崎 宏紀 R. 2.4.1 高等学校長		(2名)
常任理事(常)	原口富美子 H.24.4.1 附属幼稚園長		
理事(常)	大前 衛 H.18.4.1 短期大学職員		
理事(常)	山野上素充 H.25.4.1 短期大学職員		
理事(非)	小室 烈生 H.14.4.1		
理事(非)	堀 忍 H.17.4.1		
理事(非)	奥平 武則 R. 4.9.27 外部理事		
理事(非)	今西 康之 R. 3.4.1 外部理事		

(10名)

【評議員】定数 19人以上25人以内

評議員	浅井 祐子 H.15.4.1 理事長	評議員	堀 広 司 R. 5.9.27 短大事務局長代行
評議員	金澤 敦夫 H.25.4.1 法人事務局長	評議員	芝本 美重 R. 3.4.1 高等学校事務長
評議員	末本 誠 H.28.4.1 短期大学	評議員	加納 資也 R. 5.9.27 高等学校教頭
評議員	川崎 宏紀 H.27.4.1 高等学校長	評議員	穂積 幸美 R. 3.4.1
評議員	紺屋 美紀 R. 3.4.1 附属幼稚園長	評議員	川谷 しおり R. 3.4.1
評議員	川嶋 富美子 R. 3.4.1 附属幼稚園長	評議員	齊藤 篤史 R. 3.4.1
評議員	大前 通代 H.26.4.1 附属幼稚園長	評議員	大前 衛 H. 1.4.1 短期大学職員
評議員	原口 富美子 H.14.4.1 附属幼稚園長	評議員	山野上素充 H.25.4.1 短期大学職員
評議員	中井 重樹 H.26.4.1 附属幼稚園長	評議員	大西 則夫 H.17.4.1
評議員	馬越 美佳 H.27.4.1 附属保育園長	評議員	中田 初美 H.29.4.1
評議員	萩原文 R. 2.4.1 附属保育園長	評議員	小室 烈生 H.14.4.1
評議員	福井 智美 R. 3.4.1 法人総務部長	評議員	芝野 照久 R. 3.4.1

(24名)

【責任限定契約】

私立学校法に従い責任限定契約を締結した。

(1) 対象役員氏名

(非業務執行理事) 小室烈生 堀忍 奥平武則 今西康之

( 監 事 ) 下山隆一郎 木寅文雄

(2) 契約内容の概要

非業務執行理事等として、善意かつ重大な過失がなく、その任務を怠ったことにより本学園に損害を与えた場合は、金50万円と非業務執行理事等がその在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を責任限度額として学園に対し損害賠償責任を負うものとする。

(3) 締結日

2020年3月27日 ・ 2021年4月1日 ・ 2022年9月27日

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	40	80	80	8	15	8	3
幼 児 教 育 保 育 学 科	100	200	123	12	17	9	5
専攻科健康教育専攻	10	20	5				
専攻科生活福祉専攻	10	10	3				
合 計	160	310	211	20	32	17	8

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
総 合 コ ー ス							
特 進 コ ー ス							
合 計	210	810	705	55	9	9	2

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		176	17	12	0	2
神 陵 台 幼 稚 園	62		130	13	10	0	2
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		197	20	17	1	3
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		246	17	15	1	3

北摂学園幼稚園	85		140	13	13	0	1
合計	427		889	80	67	1	10

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	78	17	8	3	2
ぽるとこども園		19	19	7	3	0	0
合計	15	89	100	25	9	2	6

※ 学生・生徒・園児・教職員数2022年(令和4年5月1日現在)

## 2

## 事業の概要

## 2022年度の主な事業

(法人)

松聖庵門修繕工事	1,465,886	にこにこリフォーム(株)
----------	-----------	--------------

(短大)

短大学生会館作法室エアコン修理	344,300	南花崎電気工事
第一体育館落雷による自動火災報知機取替	239,800	三住管財(株)
消防設備改修	413,446	三住管財(株)
調理実習室冷蔵庫入替工事	412,500	(株)マルキキッチンテクノ
箱庭セッター式	300,000	エミット
蔵書点検ハンディターミナルセットBHT-1505B	253,000	(株)ブレインテック
楠木寮1階、3階室内壁面防カビ塗装工事	319,000	但南建設(株)

(高校)

体育館トイレ壁面及び外部付帯設備修繕工事	759,000	但南建設(株)
構内配線10G対応ケーブル敷設工事	5,940,000	ミキ通設(株)
消防設備改修(落雷対応)	278,322	三住管財(株)
第一体育館落雷による自動火災報知機取替	239,800	三住管財(株)
松聖館受信機用避雷器	443,300	内田電工(株)
落雷による非常放送用リレーユニット取替工事	732,600	南花崎電気工事
入試管理システム導入	1,705,000	システックITソリューション(株)
管理棟漏水補修工事	1,980,000	前田建設工業(株)
情報教室プロジェクト	675,950	(株)大塚商会
情報教室音響機器関連工事	1,914,220	(株)大塚商会
シューティングマシン	600,600	(株)モルテン
LAN整備L3スイッチ(AT-XS916MXT R)	1,808,950	(株)大塚商会
記念体育館暗幕カーテン再縫製・取り外し取付	250,800	(株)インテリアかとう
総合グラウンド整備	1,210,000	阪神園芸(株)

(西舞子幼稚園)

監視カメラシステム	825,000	セコム(株)
ステージ上スピーカー増設工事	517,000	HEXEL Work

(神楽台幼稚園)

通路塩ビシート施工及び1階通路追加工事	2,150,830	チャイルド社
Jユニットプール6型一式	1,899,920	(株)ジャクエツ神戸店
遊戯室音声機器交換(配線工事含む)	920,810	(株)ジャクエツ神戸店
ガス配管改修工事	293,260	モンノ(株)

(北摂第一幼稚園)

厨房グリーストラップ新設工事	283,800	(有)なべい設備商会
各教室木製ロッカー撤去・内装工事	3,300,000	但南建設(株)
網戸設置工事	588,060	(有)村上電建
食器消毒保管庫	560,000	(株)ビティー
外部階段増設工事	3,190,000	但南建設(株)

(北摂中央幼稚園)

大規模修繕工事第Ⅱ期	11,990,000	山陽建材工事(株)
大規模修繕工事第Ⅱ期追加1内装工事	1,207,800	山陽建材工事(株)
大規模修繕工事第Ⅱ期追加2トップライトガラス交換工事	440,000	山陽建材工事(株)
特色教育ソフトウェアプログラミング導入費用一式	845,680	(株)スマートエデュケーション

(北摂学園幼稚園)

ノートパソコン4台	547,800	NECフィールドینگ(株)
壁掛型扇風機新設工事	262,020	南花崎電気工事
網戸設置工事	440,000	但南建設(株)

(キッズポート保育園)

保育室網戸設置	264,000	但南建設(株)
スライディングウォール	2,658,040	山陽建材工事(株)
ゲート付き間仕切り収納2台	284,900	(株)松崎
厨房給湯器交換	270,100	正直屋

# 2022年度 湊川相野学園 事業報告

## ●湊川短期大学

今年度もコロナ対応に配慮しながら、教育の充実に教職員一体となって取り組んだ。また 2020 年度に策定された湊川短期大学の中期計画・同行動計画に基づき、前年度の成果を検証しながら事業の継続に注力した。入学者数が減少を続ける実態を直視し、その改善を最優先にして全教職員一体の取り組みを行った。

### 1. 学修成果の充実と能力形成

#### (1)短期大学の教育理念を掘り下げる

建学の精神や基本文章などの点検を十分には行うことができなかった。「湊川ブランド」の確立のために、引き続き 3 つのポリシーの点検を継続し、湊川短期大学の存在理由を明確にしていきたい。

#### (2)自己充足と社会評価が両立した人材育成

自己の充実と社会人としての基本的能力の形成に努めた。

- ① 1 単位当たり 15 時間授業の体制を維持、徹底した。
- ② 少人数ゼミによる指導体制を充実、発展させ、学生の実情に応じたきめ細かい指導を行った。
- ③ キャリアセンターのエクステンション・プログラムと連動した、実践力を兼ね備えた人材の育成に注力した。

#### (3)専門教育の充実

即戦力という短期大学の強みを発揮するために、心理デザインコースを新たに開設し専門教育をさらに拡充するとともに、本学の強みを明確にし社会へのアピールを行った。

- ① 指導体制をさらに強化し、資格合格率の向上を図り、希望する職種への就職率を向上させた。公務員試験の合格率を向上させ、就職の可能性拡大に一層取り組んでいきたい。
- ② 学生の特性に合わせた専門力育成、これから求められる保育実践力を備えた養成プログラムを引き続き検討する。
- ③ 学園のプロジェクトとして、高校・短大・附属園の相互協力により、5 年間の保育者養成の道筋を整えることができた。引き続き、保育力向上の取り組みを継続する。
- ④ 卒業生・就職先へのアンケート結果を、学生の専門教育に生かす体制づくりに、継続して取り組んでいきたい。

### 2. 学生支援体制の拡充

#### (1)学生への学修および心のケア体制の拡充

きめ細かい指導をさらに徹底するために、学修・心のケア側面からの学生支援の体制を強化した。

- ① 短大全体・学科の学修支援体制の課題を明確にし、体制改善に取り組んだ。

② 心のケアを中心とした相談体制を拡充させるため、課題の整理と改善を行った。

(2)すべての学生が安心して日常生活を送れる支援体制の確立

三田市から、大学生のワクチン接種補助や一人暮らし学生への生活支援等、各種関係団体との協力・支援体制の継続が行われた。

また災害時の学生配布用の備蓄品を整え、帰宅困難者用防災用品の準備の道筋を整えた。

3. 短大のブランド化と募集活動の効率化

(1) 湊川短期大学の特徴と強みを明確に打ち出す

寮のメリット、手厚い指導など独自の強みを打ち出し、広報活動を展開した。

(2) 学生募集活動の効率化を図る

高校訪問先の焦点化を行った。また高校の進学説明会に教員が積極的に参加し、直接本学の良さをPRすることができた。出身校への学生の学修成果を周知させる活動に引き続き取り組む。

(3) オープンキャンパスの充実

模擬授業等、本学での学び体験や、在学生との交流をさらに充実させ、本学で学びたいと感じる工夫をした。

(4) ウェブの活用による広報活動の強化

印刷物の見直しの機会をとらえ、ホームページとの一体化を進めた。また、インスタグラム等のSNSによる積極的な発信に努めた。

4. 生涯教育・生涯学習・継続教育事業の状況

保育士等キャリアアップ研修会を開催し、継続教育の場を地域に提供した。三田市民大学は新型コロナ感染拡大防止の状況の中で今年度も開催せず。

5. ガバナンスの強化

学長のリーダーシップの下でのガバナンス強化として、自己点検評価・アセスメント活動の見直しを行った。認証評価後の新たな体制作り等、教育の質向上のための取り組みに継続して取り組んでいく。

6. 経営の健全化

(1)専攻科募集停止等の道筋を段階的に整理し、持続可能な方策を模索した。

① 各学科等で確保すべき学生数を設定し、学生募集活動に教職員一丸で取り組んだ。

人間生活学科は目標には届かなかったものの定員は十分に達することができた。幼児教育保育学科は、全国的な幼児教育離れの影響を受け目標には大幅に届かなかったものの昨年度とほぼ同数は確保した。専攻科は健康教育専攻、生活福祉専攻ともに入学者を迎え、とくに生活福祉専攻は入学定員を超えることとなった。

②経営状況の共有は不十分であったが、教職員のコスト意識は持続しており、さらに節約の意識を高め、予算の選択と集中を厳格化していきたい。

令和4年(2022年)度 学校教育目標  
「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 志願者・入学者・生徒数の推移 ( )男子数

(毎年4月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
R1(2019)年度	210	2,001(1,107)	252(157)	890(563)	252	281	357
R2(2020)年度	210	2,088(1,125)	228(150)	744(478)	228	244	272
R3(2021)年度	210	1,968(1,071)	250(157)	700(448)	250	215	235
R4(2022)年度	210	2,006(1,110)	254(178)	705(467)	254	241	210
R4(2023)年度	210	2,027(1,129)	244(163)	698(457)	244	231	223

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計
H30(2018)年度	71	3	989	27	30
R1(2019)年度	50	3	840	23	26
R2(2020)年度	49	3	695	20	23
R3(2021)年度	48	3	652	21	24
R4(2022)年度	43	3	662	21	24

(毎年5月1日現在)

II. 進路実績(令和5年(2023年)4月現在)

卒業生総数 206名

- ・ 4年制大学: 95名(46%)
- ・ 短期大学: 13名(6%)
- ・ 専門学校: 66名(32%)
- ・ 就職: 17名(8%)
- ・ 就職未定: 6名(3%)
- ・ 進学未定: 9名(5%)

※4年制大学が昨年比+8%、神戸学院大学現役合格者75名 昨年比+49名

III. 自己発見プログラムの結果

- ・ キャリア進学コース3年4組 クエストカップ2023全国大会出場  
(コーポレートアクセス部門(アデコ) 4年連続で突破)

IV. 部活動の主な結果

- ・ 女子バスケットボール部: 県高校総体準優勝、第75回全国高校選手権大会3年連続出場(12月)
- ・ 県高校新人大会優勝
- ・ 男子バスケットボール部: 県高校総体7位、県高校新人大会5位
- ・ アーチェリー部: 県高校総体団体準優勝 個人全国総体出場、国体8位、全国選抜大会出場
- ・ 男子ソフトテニス部: 県高校新人大会ベスト8
- ・ 女子バレーボール部: 県高校新人大会ベスト16
- ・ 硬式野球部: 県高校野球選手権大会ベスト16、秋季兵庫県大会ベスト16
- ・ サッカー部: 県高校総体2回戦 県高校新人大会2回戦
- ・ 水泳部: 県高校総体女子200mバタフライ3位全国大会出場、女子200m個人メドレー7位
- ・ 吹奏楽部: 県吹奏楽コンクールA部門出場

V. 令和4年(2022年)度の主な行事

- 4月8日 第72回入学式
- 6月11日 松聖祭(文化の部)+芸能鑑賞(動画配信)
- 7月30日、8月6日 学校見学会(中学生見学者:計506名 昨年比-222) 参加制限
- 7月31日、8月20、21日 第17回兵庫私立中学・高等学校展(資料配付会) 西宮・姫路・神戸
- 10月18日 松聖祭(体育の部)

11月19、26日、12月3 、10、17日	令和5年度入試説明会全5回(494名 昨年比+46) 参加制限 個別相談会、Web入試説明会の実施
1月15日～19日	2年生修学旅行(沖縄)
2月10日	令和5年度入学試験(志願者:2,027名)
2月17日	第70回卒業式

## VI. 総括

- コロナ禍のため学校見学会・説明会において参加人数制限が必要であったり、大阪私学のこれまで以上の攻勢(通学費補助)など大変厳しい状況でしたが、2023年度志願者は、昨年度比+21名となりました。しかしながら専願者は173(特6+総115+進アス52)と昨年比-38減で、併願入学数は71名と昨年度比+27名となっています。塾訪問の強化戦略や募集戦略(9月から個別相談会、Web入試説明会)などで本校の魅力発信に努めていますが、より一層の広報活動が必要であると考えています。
- 2022年度から新学習指導要領に基づく教育課程が開始されると同時にコースの見直しを行い、総合コースから進学アスリートコースを独立させました。募集定員は、進学アスリートと総合の2コース合計180名と従前と同数です。また、進学アスリートコースは、26単位+専門スポーツ4時間と教育課程に特色を持つようにしています。さらに大学進学コースは、履修単位を見直し30単位+アドバンス4単位とし、アドバンスの週4時間は、7時間目に受験対応の選択授業を行っています。
- 本校独自の「自己発見プログラム」の柱である、探究学習プログラム「クエストエデュケーション」に、キャリア進学コースの3年生が積極的に取り組んだ結果、3年4組のチームが全国大会に駒を進め、4年連続の出場を達成しました。3年生は、2学年でのキャリア探究における発表経験があり、表現力豊かなプレゼンテーションを行なえることに繋がった結果であると考えています。全国大会は、昨年に続きオンラインで開催され、残念ながらセカンドステージに進む事はできませんでした。
- 進学指導の新しい取り組みとして、昨年度から放課後校内予備校として集団対面授業形式授業と個別オンライン授業方式を始めています。集団対面式授業形式は、特別進学コースの受験対策授業で来ていただいている塾講師が担当。個別オンラインは原則2人がペアになり、学校または自宅で個別指導塾の先生から授業を受けています。日々の授業、補講など全ての教育サービスを見直し、受験に必要な学力をつけるとともに未来の創り手となるために必要な資質・能力を備える教育を目指して、本校で良かったと実感できる進路指導体制を作り上げたいと考えています。
- ICT教育について、2021年新入生から一人1台のiPadを導入しています。3年間のレンタル方式を採用(機器レンタル代と通信代を合計し3,084円/月を生徒より徴収)。iPadがツールとして活用できるように指導改善をしながら取り組んできました。情報室を管理棟3階に移転するとともに、グループワーク型の授業ができるように移動式学習机とノート型PCを設置しています。また、生徒全員がiPadを持つと、従前のネットワーク環境では通信障害が起きる状況でしたが、2022年度中に三田市にビジネス10G回線の運用が開始されたことから、その10G回線を導入し現状では各館までは10Gの通信スピードが確保できるネットワーク環境となっています。今後は、各教室まで通信障害が生じないように改修工事を進めることとしています。
- 2021年度の新生入生から高大連携プロジェクト「保育探究クラス」がスタートしました。昨年度プロジェクト参加生徒は21名(内8名が奨学生)でした。生徒は科目等履修生として登録され、「保育基礎入門」の授業を高校の課外授業の時間帯で90分×15回履修し、全員が優秀な成績で単位認定されています。2年生では14名が履修登録し、木曜の5、6時間目に音楽基礎Ⅰ(ピアノ実技)と保育技能検定の技能講座の授業を履修しています。

## VII 今後について

学校の組織及び業務改善を進めたいと考えています。具体的には①変形労働時間制趣旨の徹底②各部学年間の連携強化③生徒指導に関する教職員の資質向上を図るため、各種研修会を実施するとともに、校長が全職員と個別面談を実施し、従前は当たり前になっていた校内業務(問題行動への対応やペーパーレス等)の見直しと、生徒の安全を最優先に教職員が連携して取り組める組織の構築を目指します。

## 湊川短期大学附属西舞子幼稚園 2022年度事業報告

(1) 在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
満3歳児	0	1	8	8	10	10	16	18	19	19	21	22	152
3歳児	42	42	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	498
4歳児	63	63	63	63	63	63	63	64	64	64	64	64	761
5歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
計	175	176	183	183	185	185	190	193	194	194	196	197	2251

昨年に引き続き、コロナ禍で、制限、制約はあったものの休園することなく保育を続けることはできた。その中で、通常通りの保育の保障をするための工夫も必要となったが、行事の持ち方の見直しや参観者の制限など新たな取り組みを進める機会となり、保護者の協力と理解のもと無事一年を終了することができた。ようやく新型コロナ感染収束の兆しも見え始め新たな生活の工夫も必要になってきた。また少子化に拍車がかかり、神戸市垂水区では園児減少の傾向にある。保護者のニーズや少子化に向けて、来年度から1歳児保育も進めることとなった。今後も園の職員体制をしっかりと整え、子どもの日々の育ちを見える化して、保護者に説明責任を果たしながら、安定した園運営と、さらに広い視野に立って本園の特色の理解に努める。

### (2) 運営・経営状況

・限りある職員数の中で、清掃だけでなく、新型コロナ感染防止のための徹底した消毒など日々の作業が今年度も続き、大変であった。職員一人一人が互いに声をかけ合いながら今すべき事、時間の割り振り等、意識して行動に移す努力を続けてきたが、報告、連絡、相談がスムーズに行われない場面もあった。従来の考え方にこだわらず、いろいろな立場の職員が提案したことを柔軟に受け止め、活かしていけるように、職員全員で目的や意図を理解し合い、現状にふさわしい働き方が出来るように努めていく。

・新任2名(内1名養護教諭)を迎えたが、3学期より1名の職員が育休、2名の新任が療養に入り、振休取得に支障をきたすことがあったが、多忙な中、春季休業中に消化することができた。今年度末に新任2名、非常勤職員6名の退職があり、また養護教諭も不在となる。1歳児保育も始まるので、喫緊の職員確保と新たな職員体制の構築が必要となってくる。

### (3) 怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、外科3、歯科1、眼科6件だった。今年度は新任養護教諭の配置もあり、怪我や健康管理などについて専門性を活かして対応できる体制を取ることができ心強かった。また健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、食物アレルギーなど多岐にわたり、ダイナップ等の薬剤を園で預かった。来年度はまた養護教諭も不在になる。園長・主幹だけでなく、職員それぞれが子どもの健康安全の意識を高くもち、初期対応に機敏に取り組むことに努め、今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シミュレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

### (4) 子育て支援事業

- ・ひよこルーム(預かり保育): AM7:00~19:00 長期休暇中も有 1日平均約80人前後 各号により料金設定有
- ・つぼみ教室: 月2回程度、登録9組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば: 月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

### (5) 職員研修

- ・新任研修(年5回) ・附属5園、短大研修(中止)
  - ・県、神私幼連盟研究会{人権大会(1名)、特別支援研修(3名)、専門研修(1名)、主任研修(1名)、園長研修(1名)}
  - ・私立幼稚園研修会 ・幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園) ・垂水区公私立幼稚園研修会(7名)
- ※対面での開催もあったが、リモートでの研修も行った。

### (6) 購入・修繕等

- ・遊戯室ステージ上モニタースピーカー増設工事、保育室クロス、床補修工事 ・通園バス安全装置設置
- ・1歳児用保育備品(椅子・机・ベンチ・お散歩車)折りたたみ式画用紙乾燥棚

### (7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(11月:神戸市立神陵台中学校、明石市立大蔵中学校受け入れ)
- ・実習生受け入れ(6月:本実習・9月:体験実習) ・交通安全教室(垂水警察署より来園2月) ・サッカー体験教室(2月)
- ・就学前事業(中止) ・エコロコしぜんたいけん(9月)
- ・消防署体験訪問(中止)
- ・ブレ親体験交流学习(中止)

### (8) 広報・社会活動

- ・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新充実と各学年 ブログ更新(1~2週間ごと)、お知らせを配信
- ・おうちえん(アプリ)にて各クラスだより、保育の様子ドキュメンテーション、動画、給食献立表などを配信

### (9) 園内研究(委員会)活動

- ・教育記録の書き方の検討 ・行事に向かったの全学年保育実践協議・検討(必要に応じ)
- ・園内研究保育と反省会 ・他園保育参観 ・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・園長からの保育参考資料配布 ・講師を招いて保育参観・指導助言・講演会開催
- ・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年2回実施) ・(県)キンダーカウンセラー訪問指導(年6回)

## 湊川短期大学附属 神陵台幼稚園 2022年度事業報告

### (1)在籍状況(利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	5	6	7	7	11	14	15	16	16	16	16	129
3歳児	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432
4歳児	43	43	43	43	43	44	44	44	45	45	45	45	527
5歳児	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	564
計	126	131	132	133	133	138	141	142	144	144	144	144	1652

### (2)運営・経営状況

- ・幼稚園型認定こども園となり9年目。昨年度から年少組は満3歳児との混合クラスとなっている。2021年度末の在籍152名に対して2022年度末在籍は144名。
- ・保育の質を守りつつ、引き続き感染対策(換気、職員・園児のマスク着用、手洗い、手指消毒、玩具・設備消毒、食事中の飛沫感染ガード設置等)をしながら子どもの育ちのために工夫して保育を行った。保護者もご理解くださり協力的であった。
- ・コロナ禍で、行事などに保護者参加を制限せざるを得ない状況であったので、ホームページを活用し、ブログやインスタグラム、スマートフォンでも見ることのできる「おうちえん」を使った動画配信などで子どもたちの様子を保護者にお伝えした。保育の様子を、クラスだよりの他、写真や動画で見えていただいで好評を得た。
- ・新任2名が配置された。うち1名が、本人の希望により1月から非常勤の預かり担当に変更。常勤的教諭1名が10月に退職したが、教員みんなが協力してカバーした。

### (3)怪我・事故

- ・医療機関受診件数は、外科2件、眼科2件、歯科3件  
転倒もしくは衝突したことによる打撲、外傷、歯外傷性亜脱臼

### (4)子育て支援事業

- ・預かり保育 月曜日～土曜日 7時～19時
- ・私立幼稚園2歳児子育て応援事業「いちご教室」(在宅2歳児対象)を、コロナ対策をして実施した。
- ・みんなの幼稚園事業の「ふれあい広場」(未就園児対象)も、人数を制限し、完全予約制で実施した。

### (5)職員研修

- ・会場またはリモートで研修を受講  
神戸市私立幼稚園連盟主催新任研修・キャリアアップ研修、専門研修、特別支援教育研修、垂水区公私幼稚園合同研修、兵庫県私立幼稚園教員子育て支援研修、兵庫県認定こども園園長等研修

### (6)購入・修繕等

- ・コロナ禍で延期していた組み立て式プールを購入  
遊戯室棟テラス床面 張替え工事(クッションフロア素材に)

### (7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやる・ウィークや小中学校との交流体験活動は新型コロナの影響で中止
- ・高校生との環境防災交流提携(県立舞子高等学校)
- ・教育実習生2名 受け入れ
- ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・スイミングスクールと提携し、家庭への支援と園の広報を両立

### (8)広報・社会活動

- ・神戸市こども家庭局のホームページ等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)
- ・広報誌「ちやいどのーと・神戸市垂水区版」に情報掲載
- ・地域の老人会会報に園紹介を掲載
- ・通園バス走行地域に園広告を配布

### (9)園内研究(委員会)活動

- ・行事の準備や反省などを通して教員同士で話し合い改善策をまとめる
- ・年間を通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・(県)キンダーカウンセラー訪問指導
- ・神戸市特別支援教育インクルーシブ教育相談員 訪問観察指導
- ・「湊川短大の学生と語る会」に園長が参加

## 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 2022年度事業報告

### (1) 在籍状況(認可定員300名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1歳児	6	6	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	85
2歳児	10	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	11	130
満3歳児	0	2	3	4	4	7	11	13	15	15	15	15	104
3歳児	64	64	64	64	64	65	65	65	65	65	65	65	775
4歳児	54	54	54	55	55	55	55	55	55	56	56	56	660
5歳児	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	732
計	195	197	199	200	202	206	210	212	214	217	217	216	2485
入所率	134%	136%	137%	138%	139%	142%	145%	146%	148%	150%	150%	149%	

### (2) 運営・経営状況

- ・クラス数については昨年度同様であるが、1歳児と2歳児の保育室を分離し、年少組を2クラス、年中組を3クラス、年長組を2クラスにした。
- ・職員の退職は正規2名、非常勤1名である。
- ・担任(常勤)、副担任(非常勤)と9クラス全て2人体制で取り組みが出来た。また、支援の必要な園児に対してもフリーの職員を配置することで、しっかりと見守る事ができた。
- ・コロナウイルス感染症においては、職員本人の感染や濃厚接触者扱いのため出勤が困難となる事例もあり、シフトの変更が多く生じ、対応に苦慮した。園児についても学級閉鎖をしたクラスもあったが、保護者の方のご理解とご協力を得ながら、何とか乗り越えることができた。
- ・保護者の会については、コロナ禍ではあったが、感染対策をして保護者の会三役さんを中心に【秋祭り】を開催していただき、良い関係性の中で終えることができた。
- ・1号認定子どもの預かり保育利用児が前年度よりも増加している。(新2号認定児も多い)

### (3) 怪我・事故

- ・病院での診断、治療・・・8回(整形外科3件、形成2件、眼科2件、歯科1件)受診。

### (4) 子育て支援事業

- ・すこやか広場、月に2回実施(園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム  
親子コース/こどもコース 月3~4回 (延べ利用者数 989名)  
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。  
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。  
3歳児の入園児が減少傾向にあるため、経費がかかっても今後も継続していく必要性を感じている。  
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。  
また、保護者同士の交流、情報交換場としての役割も果たしている。

### (5) 職員研修

- ・キャリアアップ研修、新任研修
- ・特別支援教育では、本園児が通園している療育施設に担任が出向いたり、逆に園に来て普段の様子を見ていただいたりし、担当職員の方に丁寧に教えていただき、両輪で園児の成長に向けて取り組むことができた。
- ・公開保育の実施

(6) 購入・修繕等

- ・保育室8部屋の床の張替え、ロッカーの撤去と購入、保育室、遊戯室、管理棟等の網戸の張替え
- ・災害時を考慮した非常階段の設置

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・教育実習受入
- ・トライやるウィーク受け入れ、北摂三田高校との交流、武庫小学校との交流。

(8) 広報・社会活動

- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

(9) その他

- ・運営法人一般社団法人SSKT 代表 桐村裕一先生による講演会。  
三田3園で特別支援教育についてご指導いただいた。

## 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 2022年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員260名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	1	1	1	1	4	4	4	5	5	5	5	0
3歳児	74	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	80
4歳児	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84
5歳児	84	85	85	85	85	85	86	86	86	86	86	86	87
計	242	246	246	246	246	249	250	250	251	251	251	251	251

### (1)園児数とコロナ感染状況

3月末では前年度と同数の園児数となった。年長組は中途入園が2名。満3歳児保育は4年ぶりに5名受け入れた。利用定員の変更をし、1号認定を210名から180名、2号認定は60名から80名に増員した。

新型コロナウイルス感染にかかった人は年間で園児56名、教職員は10人であった。

二度感染する人もいて、過去3年間で一番多く感染者が出た。

### (2)運営・クラス状況・保護者の会活動

新規採用は常勤養護教諭2名。非常勤2人。運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動はコロナ対応をしつつも秋祭りやお祝い会は予定通り実施できた。退職者は途中退職者が栄養士1名、年度末が正規教諭が1名、常勤の教諭1名であった。

### (3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は14回

(外科・整形外科 8件 歯科 2件 眼科 1件 耳鼻科 1件 接骨院 3件)

主な内容は打撲、骨折、挫創、歯茎出血、眼球炎症、肘内障等であった。

### (4)子育て支援

・グーグルフォームで登録、参加申し込みをとり、入会は一年中受け入れた。年間で25組が登録された。そのうちおおむねの未就園児が入園につながった。また、コロナ禍では見送っていた保護者向けの研修も2回入れたが、参加者は多くなかった。園外保育でフルーツフラワーパークやイチゴ狩りに行き、好評だった。

### (5)職員研修

・新任研修、県、市主催の研修等はリモート、人数制限付きの対面等で実施した。キャリアアップ研修、課題サポート研修、子育て支援研修等は希望者のみ参加した。年度末の教員研修大会や新任研修等、3月末の新任研修は今年もリモート開催となった。

園内研修を年間6回行い、職員会議でふりかえりを行い、保育に役立てた。

### (6)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィークは秋に実施された。三田祥雲館高校交流と三田西陵高校の芋掘りは実施できた。すずかけ台小学校との交流は全て中止。波豆川地区とは田植え、稲刈り、芋の苗植え、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。年中の芋掘のみ猪に食べられ収穫不能となり、中止した。三田松聖高校保育探求クラスとの交流は1、2年の実習受け入れをし、12月にはコーラス、吹奏楽部のクリスマスコンサートを行った。

### (7)広報・社会活動

・笑顔ですくすくSUNだっこ、ハニーFMのラジオ出演等行った。タウンライフなどにも広告を掲載した。園長は三田西陵高校の学校評議員、三田市子ども審議会、多世代交流館ふらっとの子育てすくすく講座講師を務めた。

### (8)園内研究(委員会)活動

・キンダーカウンセラーとのカンファレンス、三田市教育委員会、保育振興課からの教育相談、保育サポート、巡回相談は予定通り実施した。公開保育は9月に実施し、今年度は三田市教育委員会、保育振興課、すずかけ台小学校長、市内私立幼稚園教員なども多く参加した。

### (9) 修繕工事

・大型修繕として管理棟建物の外壁及び屋根の修繕工事、階段の壁面、遊戯室舞台階段の修繕工事を行った。2年にかけて大型修繕工事を行い、無事完工した。

## 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 2022年度事業報告

### (1) 在籍状況(認可定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	47	47	46	46	46	47	47	47	47	47	47	47	561
4歳児	47	47	47	47	47	47	47	48	48	47	47	47	566
5歳児	46	46	46	45	45	46	46	46	46	46	46	46	550
計	140	140	139	138	138	140	140	141	141	140	140	140	1677
入所率	97%	97%	96%	95%	95%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	

#### \* 昨年度と比較して

・入園率4月より95%以上保持。

2021年度 3月138名 2022年度 3月140名

### (2) 運営・経営状況

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、来賓抜き、保護者の参列も一家庭一人の制限を設けた入園式で始まった。園経営方針も昨年度につづき「こどもの健康と安全の確保」「保育の質の向上」「主要な行事の完全実施」の3つのことを柱に「心身ともにたくましく、やさしい心をもった子どもの育成」をめざして取り組んだ。全国的には、下降気味になってきたコロナ禍ではあったが、ここに来て園児や教職員といった身近な者に感染者が出て、園閉鎖も余儀なくされた年であった。そんな中でも、なんとか工夫して予定した大きな行事は全部実施した。行事の毎に全園児がグングン成長し大きな成果が治められた。より一層研鑽を積み、地域に根を張った信頼される幼稚園となるよう皆で力を合わせて一所懸命頑張ってきた。

### (3) 病院で診断・治療を受けた回数4回(歯科2回、眼科2回)

### (4) 子育て支援事業

- ・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放日を設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。
- ・あいあいルーム開設、未就園児の体験保育月に3～4回
- ・県在宅児子育て応援事業

### (5) 職員研修

- ・特別支援連携・学校園所連携・三私幼研究部会・兵庫県私立幼稚園協会教員研修大会・公開保育研修・HSCについて学ぶ

### (6) 購入・修繕等

- 購入 園庭固定遊具
- 修繕 駐車場剪定、除草

### (7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク・湊川短大実習生受け入れ・県立三田西陵高校保育体験等を実施

### (8) 広報・社会活動

- ・コロナ禍にあり、地域活動等は自粛・タウン誌園情報掲載

### (9) 園内研究(委員会)活動

- ・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症対策委員会・アレルギーについての会議

## 湊川短期大学附属キッズポート保育園 2022年度事業報告

### (1) 在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	4	6	7	7	7	9	9	9	9	11	11	11	100
1歳児	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	147
2歳児	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	139
3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
5歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	76	78	79	78	78	81	81	81	81	83	83	83	962
入所率	109%	111%	113%	111%	111%	116%	116%	116%	116%	119%	119%	119%	115%

### (2) 運営・経営状況

産前後～育児休暇に入る常勤職員が1名(4月～)いたことや、年度後半に0歳児クラス入園希望の在園児兄弟が数名おり0歳児クラスの受け入れが例年と比べるとゆっくりであったことから、入所率も低くなっている。

### (3) 怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は8回(歯科1件、形成2件、眼科3、小児科2件※肘内障)いずれも1回～2回受診で完治している。8件の内、7件、日本スポーツ振興センターに災害給付金申請をおこなった。

### (4) 子育て支援事業

- ・未就園児親子が参加する子育てステーション事業はコロナ禍ということで参加者が少ない月もあったが、園内での製作等や戸外活動等を実施することができた。※毎月1回実施。

### (5) 職員研修

- ・園内研修  
※わらべうたの研修や三田市消防署員による救急救命研修を行った。
- ・園外研修  
乳児保育研修やわらべうたのリモート研修参加  
保育課題サポート研修、就学前全体研修へ参加。  
※主に発達の気になる子への対応についての研修に参加をした。  
キャリアアップ研修(保護者支援、乳児、食物アレルギー、マネジメント)

### (6) 購入・修繕等

- ・コロナ感染症感染拡大防止のための環境整備として  
玩具棚2台購入 ※0・1歳児クラス保育室の間仕切り  
幼児クラスの可動式パーテーション設置 ※コロナ改修支援事業補助金利用
- ・厨房用給湯器

### (7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・令和4年度はコロナ禍ではあったが、ほぼ例年通り行うことができた。  
トライやるウィーク受け入れ、三田市立中学校2校、神戸市内の中学校1校  
篠山鳳鳴高校1日体験保育、三田西陵高校保育体験受け入れ  
すずかけ台小学校との交流会(行事の練習風景等の見学)  
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施(湊川短大、親和女子大、武庫川女子大)

### (8) 広報・社会活動

- ・三田市内認可保育園所・幼稚園合同による就職フェアはコロナウィルス感染拡大等を考慮し、参加を見合わせた。

### (9) 園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児クラス保育会議、乳児クラス保育会議  
・離乳食会議、給食会議、アレルギー児配食会議等を行った。

## 湊川短期大学附属ぼるとこども園 2022年度事業報告

### (1)在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	6	6	44
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20	22	22	236
入所率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	105%	105%	116%	116%	104%

### (2)運営・経営状況

2022年度は4月から定員の19名を確保することができ、後半には最終6名まで0歳児を受け入れることができたので運営は安定した。

### (3)怪我・事故

・2022年度は受診を要する怪我は3件であったが全て治癒済み。念の為受診したケースが2件、二針縫ったケースが1件だった。ヒヤリハットを充実させ安全な保育に努めたい。

コロナウイルス感染症での影響は最小限で休園になったのは1度だけであった。

### (4)職員研修

キャリアアップ研修、三田市課題サポート研修

コロナウイルスの影響もあり研修を受ける機会が少なかった。保育担当制を進めるためにもキッズポート保育園への研修や連携を密にとっていきたい。

### (5)連携事業活動

・連携園との交流活動

### (6)園内研究(委員会活動)

・ヒヤリハット委員会

・離乳食・アレルギー一児対応会議等を行った。

### 3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

#### ◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどのような収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、事業活動支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

平成27年度会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

2022年度

## 財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表

●活動区分資金収支計算書(千円単位四捨五入のため差異あり)

学校法人 湊川相野学園

## 資金収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,523,603	1,511,575	12,029	学生生徒等納付金収入	602,274	598,842	3,431
教育研究経費支出	384,024	360,987	23,037	手数料収入	40,957	43,039	△ 2,082
管理経費支出	318,274	310,198	8,077	寄付金収入	4,140	6,264	△ 2,124
借入金等利息支出	1,487	1,487	0	補助金収入	1,228,705	1,332,687	△ 103,982
借入金等返済支出	19,440	19,440	0	資産運用収入	27,000	38,634	△ 11,634
施設関係支出	5,008	5,040	△ 32	資産売却収入	131,560	131,923	△ 363
設備関係支出	16,692	17,628	△ 935	事業収入	84,909	110,129	△ 25,221
資産運用支出	110,071	160,071	△ 50,000	雑収入	135,418	143,436	△ 8,018
その他の支出	502,081	547,748	△ 45,667	借入金等収入	0	0	0
予備費	0	0	0	前受金収入	114,514	125,783	△ 11,269
資金支出調整勘定	△ 158,670	△ 143,288	△ 15,382	その他の収入	345,835	486,197	△ 140,362
次年度繰越支払資金	1,497,274	1,721,003	△ 223,729	資金収入調整勘定	△ 242,286	△ 251,308	9,021
				前年度繰越支払資金	1,746,260	1,746,260	0
支出の部合計	4,219,284	4,511,887	△ 292,603	収入の部合計	4,219,284	4,511,887	△ 292,603

## 事業活動収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,523,603	1,518,895	4,709	学生生徒等納付金	602,274	598,842	3,431
教育研究経費	573,744	552,182	21,562	手数料	40,957	43,039	△ 2,082
管理経費	310,504	299,216	11,288	寄付金	4,140	6,264	△ 2,124
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補助金	1,228,705	1,332,487	△ 103,782
教育活動収支差額	△ 311,685	△ 136,330	△ 175,354	事業収入	84,909	110,129	△ 25,221
借入金等利息	1,487	1,487	0	雑収入	135,182	143,200	△ 8,018
その他の教育活動外収	0	0	0	受取利息・配当金	27,000	38,634	△ 11,634
教育活動外収差額	25,513	37,147	△ 11,634	その他の教育活動外収	0	0	0
資産処分差額	0	4,248	△ 4,248	資産処分差額	0	12,118	△ 12,118
その他の特別支出	23,832	27,992	△ 4,160	その他の特別収入	236	436	△ 200
特別収支差額	23,832	△ 19,687	43,519				
支出の部合計	2,433,170	2,404,020	29,151	収入の部合計	2,123,402	2,285,150	△ 161,748
予備費	0	0	0				
基本金組入前当年度収支差額	△ 309,768	△ 118,870	△ 190,899				
基本金組入額合計	△ 38,830	△ 101,402	62,573				
当年度収支差額	△ 348,598	△ 220,272	△ 128,326				
前年度繰越収支差額	△ 861,169	△ 861,169	0				
基本金取崩額	0	21,494	△ 21,494				
翌年度繰越消費収入超過額	△ 1,209,767	△ 1,059,947	△ 149,820				

## 貸借対照表

2023年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,892,649	8,042,169	△ 149,520
(1)有形固定資産	5,409,655	5,599,871	△ 190,217
(2)その他の固定資産	2,482,994	2,442,297	40,697
流動資産	1,856,421	1,871,346	△ 14,925
合計	9,749,069	9,913,515	△ 164,446

  

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	449,089	461,209	△ 12,120
流動負債	320,128	353,584	△ 33,456

  

第1号基本金	9,628,800	9,598,892	29,908
第2号基本金	238,000	188,000	50,000
第4号基本金	173,000	173,000	0
繰越収支差額	△ 1,059,947	△ 861,169	△ 198,778
合計	9,749,069	9,913,515	△ 164,446

## 活動区分資金収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,233,962
教育活動資金支出計	2,154,767
差引	79,195
調整勘定等	△ 29,764
教育活動資金収支差額	49,431

  

施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	563
施設整備等活動資金支出計	72,668
差引	△ 72,105
調整勘定等	3,190
施設整備等活動資金収支差額	△ 68,915

  

その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	547,356
その他活動資金支出計	553,245
差引	△ 5,888
調整勘定等	116
施設整備等活動資金収支差額	△ 5,772
支払資金の増減額	△ 25,257
前年度繰越支払資金	1,746,260
翌年度繰越支払資金	1,721,003

過去5カ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984名 保育所95名			短大240名 高校700名 幼稚園942名 保育所100名			短大211名 高校705名 幼稚園899名 保育所97名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,021,964	17.2%		839,314	10.7%		679,686	11.6%		641,251	12.9%		598,842	13.3%	
手数料収入	37,902	0.6%		38,569	0.5%		42,995	0.7%		42,358	0.9%		43,039	1.0%	
寄付金収入	11,010	0.2%		43,732	0.6%		6,407	0.1%		17,379	0.3%		6,264	0.1%	
補助金収入	1,161,611	19.6%		1,220,909	15.5%		1,298,099	22.2%		1,312,807	26.4%		1,332,687	29.5%	
資産運用収入	43,383	0.7%		31,188	0.4%		24,651	0.4%		28,406	0.6%		38,634	0.9%	
資産売却収入	1,378,800	23.2%		1,854,048	23.5%		717,286	12.3%		300,050	6.0%		131,923	2.9%	
事業収入	105,873	1.8%		102,004	1.3%		84,315	1.4%		96,554	1.9%		110,129	2.4%	
雑収入	72,326	1.2%		156,118	2.0%		40,139	0.7%		122,225	2.5%		143,436	3.2%	
借入金等収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
前受金収入	172,999	2.9%		151,915	1.9%		161,699	2.8%		126,882	2.6%		125,783	2.8%	
その他の収入	673,054	11.3%		2,173,141	27.6%		1,347,844	23.1%		717,220	14.4%		486,197	10.8%	
資金収入調整勘定	△ 273,170	-4.6%		△ 322,042	-4.1%		△ 193,339	-3.3%		△ 270,969	-5.5%		△ 251,308	-5.6%	
前年度繰越支払資金	1,526,825	25.7%		1,587,980	20.2%		1,625,839	27.9%		1,834,727	36.9%		1,746,260	38.7%	
<b>資金収入合計</b>	<b>5,932,576</b>	<b>100.0%</b>		<b>7,876,876</b>	<b>100.0%</b>		<b>5,835,619</b>	<b>100.0%</b>		<b>4,968,890</b>	<b>100.0%</b>		<b>4,511,887</b>	<b>100.0%</b>	
人件費	1,528,416	25.8%		1,620,596	20.6%		1,439,807	24.7%		1,495,253	30.1%		1,511,575	33.5%	
教育研究経費支出	333,889	5.6%		342,034	4.3%		323,695	5.5%		403,029	8.1%		360,987	8.0%	
管理経費支出	269,053	4.5%		281,663	3.6%		298,342	5.1%		277,615	5.6%		310,198	6.9%	
借入金等利息支出	1,887	0.0%		1,812	0.0%		1,704	0.0%		1,596	0.0%		1,487	0.0%	
借入金等返済支出	8,330	0.1%		19,460	0.2%		19,440	0.3%		19,440	0.4%		19,440	0.4%	
施設関係支出	300,997	5.1%		28,855	0.4%		106,260	1.8%		11,633	0.2%		5,040	0.1%	
設備関係支出	20,963	0.4%		15,307	0.2%		13,575	0.2%		30,125	0.6%		17,628	0.4%	
資産運用支出	1,318,472	22.2%		1,976,189	25.1%		598,142	10.2%		582,895	11.7%		160,071	3.5%	
その他の支出	641,214	10.8%		2,137,961	27.1%		1,260,956	21.6%		554,899	11.2%		547,748	12.1%	
資金支出調整勘定	△ 78,625	-1.3%		△ 172,840	-2.2%		△ 61,030	-1.0%		△ 153,853	-3.1%		△ 143,288	-3.2%	
次年度繰越支払資金	1,587,980	26.8%		1,625,839	20.6%		1,834,727	31.4%		1,746,260	35.1%		1,721,003	38.1%	
<b>資金支出合計</b>	<b>5,932,576</b>	<b>100.0%</b>		<b>7,876,876</b>	<b>100.0%</b>		<b>5,835,619</b>	<b>100.0%</b>		<b>4,968,890</b>	<b>100.0%</b>		<b>4,511,887</b>	<b>100.0%</b>	

過去5か年の財務の推移表②

単位 千円

事業活動収支計算書	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
	短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984名 保育所95名			短大240名 高校700名 幼稚園942名 保育所100名			短大211名 高校705名 幼稚園899名 保育所97名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,021,964	42.4%		839,314	35.2%		679,686	31.6%		641,251	28.7%		598,842	26.8%	
手数料	37,902	1.6%		38,569	1.6%		42,995	2.0%		42,358	1.9%		43,039	1.9%	
寄付金	11,010	0.5%		43,732	1.8%		6,407	0.3%		17,379	0.8%		6,264	0.3%	
補助金	1,160,411	48.2%		1,215,351	50.9%		1,298,099	60.3%		1,312,807	58.8%		1,332,487	59.6%	
事業収入	105,873	4.4%		102,004	4.3%		84,315	3.9%		96,554	4.3%		110,129	4.9%	
雑収入	72,326	3.0%		147,618	6.2%		40,139	1.9%		122,225	5.5%		143,200	6.4%	
教育活動収入計	2,409,485	100.0%		2,386,587	100.0%		2,151,640	100.0%		2,232,574	100.0%		2,233,962	100.0%	
人件費	1,527,460	63.4%		1,620,774	67.9%		1,450,064	67.4%		1,499,583	67.2%		1,518,895	68.0%	
(教育研究経費支出)	(271,801)	11.3%		(276,469)	11.6%		(243,275)	11.3%		(342,860)	15.4%		(300,796)	13.5%	
(奨学費支出)	(63,531)	2.6%		(65,565)	2.7%		(80,420)	3.7%		(60,169)	2.7%		(60,191)	2.7%	
(減価償却額)	(181,918)	7.6%		(195,406)	8.2%		(197,646)	9.2%		(195,131)	8.7%		(191,195)	8.6%	
教育研究経費 合計	517,250	21.5%		537,440	22.5%		521,341	24.2%		598,160	26.8%		552,182	24.7%	
(管理経費支出)	(269,053)	11.2%		(281,123)	11.8%		(257,945)	12.0%		(277,200)	12.4%		(282,206)	12.6%	
(減価償却額)	(17,498)	0.7%		(19,009)	0.8%		(17,819)	0.8%		(17,852)	0.8%		(17,010)	0.8%	
管理経費 合計	286,551	11.9%		300,132	12.6%		275,764	12.8%		295,052	13.2%		299,216	13.4%	
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計	2,331,260	96.8%		2,458,345	103.0%		2,247,169	104.4%		2,392,795	107.2%		2,370,292	106.1%	
教育活動収支差額	78,225	3.2%		△71,758	-3.0%		△95,529	-4.4%		△160,221	-7.2%		△136,330	-6.1%	
受取利息・配当金	43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%		28,406	1.3%		38,634	1.7%	
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計	43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%		28,406	1.3%		38,634	1.7%	
借入金等利息	1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%		1,596	0.1%		1,487	0.1%	
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計	1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%		1,596	0.1%		1,487	0.1%	
教育活動外収支差額	41,495	1.7%		29,376	1.2%		22,947	1.1%		26,811	1.2%		37,147	1.7%	
経常収支差額	119,720	5.0%		△42,382	-1.8%		△72,582	-3.4%		△133,410	-6.0%		△99,183	-4.4%	
資産売却差額	4,196	0.2%		16,842	0.7%		10,713	0.5%		300	0.0%		12,118	0.5%	
その他の特別収入	3,288	0.1%		8,761	0.4%		1,353	0.1%		0	0.0%		436	0.0%	
特別収入計	7,483	0.3%		25,603	1.1%		12,066	0.6%		300	0.0%		12,553	0.6%	
資産処分差額	39	0.0%		29,635	1.2%		1,690	0.1%		141	0.0%		4,248	0.2%	
その他の特別支出	12,502	0.5%		605	0.0%		40,397	1.9%		415	0.0%		27,992	1.3%	
特別支出計	12,541	0.5%		30,240	1.3%		42,087	2.0%		556	0.0%		32,240	1.4%	
特別収支差額	△5,058	-0.2%		△4,637	-0.2%		△30,021	-1.4%		△256	0.0%		△19,687	-0.9%	
基本金組入前当年度収支差額	114,663	4.8%		△47,019	-2.0%		△102,602	-4.8%		△133,666	-6.0%		△118,870	-5.3%	
基本金組入額合計	△431,904	-17.9%		△148,959	-6.2%		△203,174	-9.4%		△121,456	-5.4%		△101,402	-4.5%	
当年度収支差額	△317,242	-13.2%		△195,979	-8.2%		△305,776	-14.2%		△255,123	-11.4%		△220,272	-9.9%	
前年度繰越収支差額	92,950			△224,292			△420,270			△626,046			△861,169		
基本金取崩額	0						100,000			20,000			21,494		
翌年度繰越収支差額	△224,292			△420,270			△626,046			△861,169			△1,059,947		

※各比率は教育活動収入に対する比率。

令和5年5月24日

## 監査報告書

学校法人 湊川相野学園  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人 湊川相野学園

監事 下山 隆一郎

監事 木寅 文雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づく監査報告を行うため、学校法人湊川相野学園寄附行為第17条の規定に従い、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）、学園の業務若しくは財産の状況、及び理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査を行うにあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認められました。

以上